

change
Warm up 2nd
+ greeting 1st

教師と生徒の「やり取り」の場合、**教師主導**の色の下に**やり取り**を青く表示している。
なお、青色であっても**個人の活動**を含む場合がある。

More questions
Do you like Monday?
why pair talk

段階	学習内容	教師の役割		※指導上の留意点 ◆評価【観点】(評価方法)
		JTE	NS	
授業前	0. Warm Up(3) ①グループで配役を決め、前時の学習を思い出しながら、本文 Part2 を演じる練習をする。	・机間指導を行いながら、モデルとなるグループを見つける。	・机間指導を行い、本文の内容が十分表現できていない場合は、改善のヒントを与える。	※学習カルテ(座席表に教師の気づきをメモする用紙)をNSと共有し、スローラーナーの支援に備える。 ※NS には映画監督のような格好をしてもらい、生徒への演技指導への意欲を示してもらおう。 ※本文の内容を理解して演じているかを観察し、Review での発表に繋げる。
	導入 1. Greeting(1) 2. Review(3) ①全体でモデルとなるグループの発表を聞く。 ②NS のコメントを聞く。	・モデルとなるグループを指名する。	・よかった点を具体的にコメントする。	※生徒が英語劇を通して、母国語ではできない「ことばの気づきや面白さ」を得るよう指導する。ここでは、間の取り方、イントネーション、声の大きさを伝わり方が変わることに着目できるようにしたい。
展開	3. めあての確認(1)	人やものの様子を説明する表現を使って、スキットを作ることができる。		
	4. Small Talk(7) (やり取り) ①look+形容詞の英文を聞き、意味を理解する。 ②学校の先生方の写真を見て、表情からその理由や自分が先生のためになりたいことを考え、ペアで説明する。	・NS が示した写真を見て、look 形容詞で説明する。 ・NS とのやり取りに生徒を巻き込む。	・自分が撮った、学校の先生方が様々な表情をした写真を紹介する。 ・写真を見ながら JTE や生徒とやり取りをする。 ・机間指導を行い、個別に支援したり、発表を促したりする。	※NS は演劇が好きなので、人間観察に興味があることを伝える。先生方を題材にし、生徒の生活の論理に合ったものにする。 ※写真にマスキングを施し、生徒に余白(生徒が自己決定する場面)を残す。 ※まずは個人で考える時間を作り、その後ペアで紹介し合う。 ※look+形容詞に続く文は、これまで学習してきた discourse marker(but/because/so)を用いて考えるように促す。 (例)Mr.Kimura looks happy because he got chocolate on Valentine's Day.
	③全体で発表する。	・生徒を指名する。	・面白く英文を作っている生徒を見つけ、紹介する。 <i>I took them in school. "great pictures" maybe add the principal and vice principal photos to indicate</i>	※机間指導をしながら、生徒の英文をタイミング良く紹介する。アイデアが浮かばない生徒にはヒントを出して支援する。

生徒とNSとのやり取りを
引き出すために
Q) Where did you take this picture?
(When)

They look happy.
change teachers to movie stars

More students thinking time to write ideas.

5. スキット作り(31)

全体 → ペア

→ 全体 → 個人

① JTE と NS のモデルを聞く。

生徒がノートに書き出すのは、
形容詞をまとめたリストを両面にした
(時間短縮のため)

② 既習の形容詞を確認し、スキットで用いるものをペアで選ぶ。

・黒板にマンダラートを書き、既習の形容詞を整理する。

③ めあてを再確認する。

④ マッピングでスキットの展開をペアで考え、内容を決定する。

・マッピングの例を黒板に示す。

・机間指導を行い、個別に支援する。

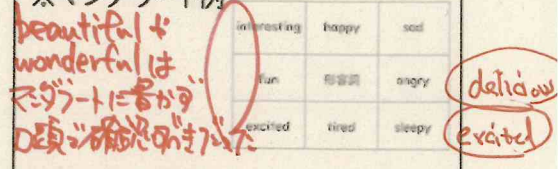
・JTE と small talk を行う。

・机間指導を行い、個別に支援する。

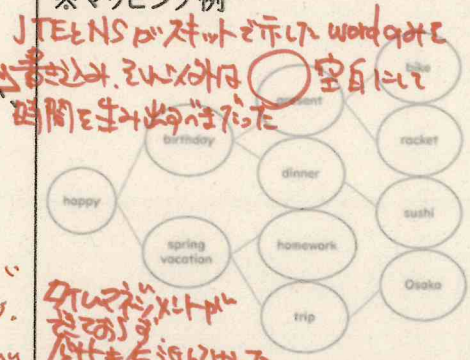
※スキット作りで生徒が幅広い場面を想起できるよう、物や2人称が主語の場合を紹介する。

・It looks wonderful. ・You look angry.

※マンダラート例



※マッピング例



※筆箱や水筒などの小道具を使って、劇をリアルに近づけるよう促す。
※演技中の聞き方や拍手など、聞き手の態度が演者のパフォーマンスを引き出す鍵となることを生徒の声から引き出し、good listener を育てる。

◆【話すこと(やり取り)】

look 形容詞を用いたまとまりのある文章を、即興に近い形で話すことができる。

※Key Sentence

・You look happy.
・Mr. Kimura looks happy.
・It looks wonderful.

(be happy)
I am happy. because...
迷っても付加するのはOK

※最後に Key Sentence について説明することで、次の書く活動でミスをしないう気をつけることにつなげる。

※accuracy を追求するため、ノートは回収し、教師がチェックをする。
※振り返りには、本時でできたことと

maybe change the topic "second" Winter = cold = jacket

このPPT話に4エピソードを促す
お促ししました

You need 4 in a skit.

Let's make interesting story!

ADD: emotions
shy/nervous
cold!

I'm going to review your skits. so I can choose one for my class.

最初PPTを見せ、練習のみを促す

ADD genres

new movie

comedy
Romance
Sci
Action

まとめ

⑧ 教師の説明を聞く。

・look 形容詞の文の作り方と使用場面を説明する。

⑨ 発表したスキットをノートに書く。

・机間指導を行い、個別に支援する。

生徒がノートに書くのは、writingの時間を十分に確保できるように

NSR英語のコンテストで発表するのは最初でいい感じでした

6. 振り返りを書く(5)

・机間指導を行い

	<p>7. 次時の予告(1)</p> <p>8. Greeting(1)</p>	<p>がらモデルとなる生徒を見つけ、発表を促す。</p> <p>・次時で扱う本文について予告を行う。</p>	<p>・本番の発表も楽しみにしていることを伝える。</p>	<p>その理由、改善点やNSへのコメントを書くよう促す。</p> <p>※Part3では、EriがKotaを持ち上げるシーンがあるので、楽しみにするよう伝える。</p>
--	------------------------------------------	--------------------------------------------------------	-------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------

5 授業の視点

- ・マッピングを用いて、即興に近い形で話すこと(アウトプット)ができているか。
- ・表情やジェスチャーを工夫して、生き生きとスキットを演じることができているか。